■冊子：中綴じ/綴じなし_B5_見開き2P（紙のサイズ 364 × 257 mm　仕上がりサイズ 182 × 257 mm）

天

2. 二宮小学校跡地を「ワンストップ通園＆医療モール」へ

学校再編を進め、二宮小学校跡地を「駅前保育園＋医療モール」へ転換します。

■ **通勤ついでに送迎：** 駅近の立地を生かし、忙しい保護者が通勤途中に子どもを預けられる環境を整備。

■ **急な発熱・一時預かりも安心：** 医療機関と保育施設がダイレクトに連携し、病児保育や託児サービス、保育時間の延長など、子育て世代の負担をトータルで軽減します。

3. 将来の「駅ビル構想」と「南口・西口」の再整備

現在の駅北口周辺エリアの再整備を進め、JRとも協議を重ねながら、将来的にはさいたま新都心のような「商業と暮らしが一体となった駅ビル構想」を目指します。

■ **買い物と住まいの一体化：** 飲食店や生鮮3品、衣料品テナントを誘致し、上層階には賃貸住宅を整備。若い世代が住み続けたくなる環境をつくり、「人口3万人」を目指せるまちへ挑戦します。

■ **南口・西口の未来づくり：** 栄通りをはじめとする南口の将来像は、町民の皆様と一緒に意見を交わしながら計画を策定。さらに駅全体の再整備に合わせて「西口改札の設置」についてもJRと協議・検討を進めます。

単なる再開発ではありません。「行政」「防災」「子育て」「医療」「商業」「観光」「交流」のすべてが一つに繋がる二宮の新たなシンボルをつくる。これこそが本当の未来への投資であり、町民の暮らしを便利にし、地域経済を元気にし、次の世代へ希望をなぐ私の計画です。

再生 "駅前を甦らせ活用する!"

公民館跡地のような駅前一等地が活かされず、今後控える小学校の統廃合への対応も問われる今、40億円もの巨額な新庁舎に予算を投じる余裕はありません。

そこで現行の巨大庁舎案を止め、旧公民館跡地へ庁舎機能をスマートに分割配置することで建設費を大幅にカットします。

さらに、統廃合後の小学校跡地を「全世代交流＆ワンストップ通園拠点」として再生します。盆踊りのような地域の伝統行事を継承するための広場や、来町者向けの案内所で賑わいを生み出すと同時に、保育・医療機能を一箇所に集約。

税金の無駄を抑えながら、子どもからお年寄り、来町者までが笑顔で集う、安心と活気にあふれた「あの頃の駅前」を取り戻します。



駅があると言うあたり前の現実を町の魅力に変換

地域 "ひとの繋がりを大切にする!"

若い力と人手不足の現場を有償ボランティアで繋ぎます。

若い力と人手不足の現場を有償ボランティアで繋ぎ、作業後には町内の飲食店での交流から、自然な笑顔と消費の循環を生み出します。

また、地区会館を「小さなレストラン＆移動販売拠点」として活用。子育て世代等が料理の腕を、収入に変える機会を生み出しながら、子ども食堂や高齢者ランチやお惣菜購入ができ常に賑わう場へ進化させます。

さらに吾妻神社、川勾神社の伝統の祭礼を強力支援。幅広い世代が盛り上がり、誰もが毎年「待ち遠しい縁日」がよみがえる郷土愛を育みます。

経済 "「なにもない」なんて言わせない!"

地元の美味しい食材や特産品が集まる「食べ歩き・飲み歩き横丁」の創出や、地場産業・個人事業主への挑戦支援を推進。

町外へ流れていた消費を町内へ引き戻します。

地域の店舗が活気づき、地元の人が地元で買い物や食事を楽しみ、お金と賑わいが町内で循環する、元気な二宮の経済基盤をつくります。

新たな賑わいの拠点として、ラディアン第1駐車場部分に常設のマルシェを展開。 家庭菜園の野菜を販売可能にし、田舎ならではの自然の豊かさに触れられる、町内外の垣根を超えた交流スポットに。

さらに、国立小児病院跡地から海岸へ降りる坂路を新設し、人や車の新たな動線を確保。公有地を民間へ貸し出して、艇庫やBBQ施設としての商業開発を推進。町立体育館を民営化、2階へレストランを誘致して、海岸周辺に海産物直売所や駐車場を整備。 活用不十分だった梅沢の海を抜本的に改善します。

「湘南にのみや」が秘める魅力である、昔ながらの街並み、山の幸、海の景観、を最大限に活かし、誰もが楽しめるレジャー施設、事業化に値する経済地盤として、脚光を集めます。

教育 "ここで育てたい!と思ってもらう!"

時代に即した取り組みによって、子どもたちの行動をしっかり見守り、子育て世代に選ばれる町をつくります。

二宮高校を含めた生徒数減少の現状に対し、県と早急に協議を実施。先端教育の研究に基づく独自の教育システムを構築し、新設校計画を積極的に進めながら、二次利用の見込める資産である空き校舎を確保していく。

また公園や公共施設への、無料Wi-Fiの設置数を増やすことで、安全性の高い環境にありながら、通信料も節約できて家計にも優しい、学びの場を整備。

時代に即した取り組みによって、子どもたちの行動をしっかり見守り、子育て世代に選ばれる町をつくります。